

平成 23 年 7 月 8 日

## 省エネ出張診断・相談報告書(ゆめタウン宇部)

日 時 平成 23 年 7 月 3 日(日)9:30～19:00

4 日(月)9:30～19:00

5 日(火)9:30～18:00

場 所 7 月 3 日 ゆめタウン宇部2F エレベーター前

7 月 4,5 日 ゆめタウン宇部1F エレベーター前

担 当 者 松井民男 春木英治(文責)

実施内容 パネル展示による省エネの啓発と省エネ相談、診断窓口を開設した。

### ■パネル展示

- ・省エネ ACTION「節電中」(環境省)
- ・7つの省エネアクション(環境省)
- ・家庭の節電対策メニュー(資源エネルギー庁)
- ・被災地復興支援アクションキャンペーンポスター(政府広報)

### ■省エネ診断、相談

- ・「家庭の節電対策メニュー」(診断項目 10項目)をモニター画面に表示し、回答を聞き取り、パソコンに入力、処理後、診断結果をプリントアウトして認定表彰した。
- ・診断は項目毎に、「できている」:3 点、「少しできている」:2 点、「あまりできていない」:1 点、「できていない」:0 点 の 4 段階で評価、総点数で診断した。
- ・診断結果は削減率により、**金賞**(50%以上)、**銀賞**(25～50%)、**銅賞**(15%～25%)、**努力しましよう**(14.9%以下)として認定書を発行した。認定書には、項目毎に消費電力削減率と削減量を記載し、全体の削減率、削減量も記載した。
- ・認定書を手渡す際に、点数の低い項目について改善点等のアドバイスを行った。
- ・東日本大震災の被災地を応援するため、政府広報HPにならって、「応援アクション」として、カードに「〇〇で応援しよう」と記入してもらい、パネルに貼付していった。
- ・診断者数:3 日間合計 88 人(3 日:30 人、4 日:24 人、5 日:34 人)
- ・相談・質問数:5 件
- ・復興アクション協力者数:約 100 人



診断ブース(2F)



診断ブース(1F)



復興アクション

診断結果

チェック内容と回答者数

受診者数88人

できている       少しできている  
 あまりできていない       できていない

No.	チェック内容	人数										
		10	20	30	40	50	60	70	80	88		
1	冷房は28℃を心がけましょう。	60						21		5		1
2	”すだれ”や”よしず”などで窓からの日差しを和らげましょう。	55						20		3	10	
3	できるだけエアコンを消して扇風機を使いましょう。	66						16		4		2
4	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まないように。	44				32				11		1
5	日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。	68						14		2	4	
6	省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。	42				25		15		6		
7	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用しましょう。	62						6	14		6	
8	上記の機能がなければコンセントからプラグを抜いておきましょう。	62						6	14		6	
9	早朝にタイマー機能で一日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。	57						11	14		6	
10	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。	46				18		13		11		

考察・感想

- ・省エネ診断では、各質問に対して、「できている」、「少し出来ている」の回答が多く、受診者の多くは省エネを意識して取り組んでいるようだった。
- ・今回は、市役所の節電キャンペーンのキックオフイベントとして市職員によるPR効果もあり、6/9～6/11のフジグラン宇部と比べてお客さんの反応は良かったようだった。
- ・復興アクションは多くの人たちが快く引き受けてくださった。

以上